

岡山県社協 イメージキャラクターの愛称が、

# 『ももるんじゃー』

に決定しました！



- \* 『ももるんじゃー』という名前には、岡山の特産である「桃」と、「守る」という2つの意味が込められています。
- \* 詳しくは9ページをご覧ください。

## 岡山県社会福祉 2

### 特集 社会福祉法人における「地域における公益的な取組」の展開に向けて

p2

**p5** 赤い羽根共同募金

平成28年度 NHK歳末たすけあい配分交付式  
ありがとうメッセージ

**p6** 県社協ニュース

「無理しない地域づくりの学校」という挑戦  
福祉を学ぶ高校生を対象としたワークショップを開催  
災害時要配慮者支援体制構築セミナーのご案内  
イメージキャラクターの愛称が決定  
福祉の就職総合フェア岡山冬を開催

**p10** 現場からの発信

あさくちグリーンマーケット  
～みんなの笑顔が見たいから～

**p12** 「ふくし」の仕事人たち  
SELP商品のご紹介



社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会

URL: <http://www.fukushiokayama.or.jp>

Facebook: <https://facebook.com/fukushiokayama/>

この機関紙は、共同募金の配分金によって発行しています。



# 社会福祉法人における「地域における公益的な取組」の展開に向けて

社会福祉法等の一部を改正する法律（以下「改正法」）が平成28年3月31日に公布され、「地域における公益的な取組」の実施に関する責務規定が創設されました。その中で社会福祉法人には、法人の本旨に従い、他の事業主体では対応が困難な福祉ニーズに対応していくことが求められており、本県においても取組をいかに広めていくかが課題となっています。そこで今月号では「地域における公益的な取組」について、改正法の内容や全国的な動向を紹介するとともに、本県における今後の取組展開について特集します。

## 背景・趣旨（改正法24条2項） 社会福祉法人の本来の役割

社会環境の変化に伴う福祉ニーズの多様化・複雑化に伴い、既存の制度では十分に対応できない人（生計困難者、独居高齢者、認知症高齢者など）に対する支援の必要性が高まっています。

地域における福祉ニーズに対しては、様々な事業主体の創意工夫により対応していくことが必要となりますが、「社会福祉事業に係る福祉サービスの供給確保の中心的役割を果たすだけでなく、既存

の制度の対象とならないサービスに対応していくことを本旨とする法人」である社会福祉法人には、その本旨に従い、他の事業主体では対応が困難な福祉ニーズに対応していくことが求められています。

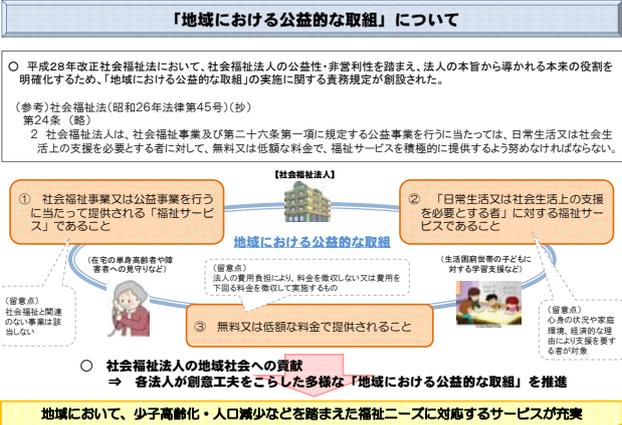
このような現状を受け、改正法において、「社会福祉事業及び公益事業を行うに当たり、日常生活・社会生活上の支援を必要とする者に対して無料又は低額の料金により福祉サービスを提供すること」（地域における公益的な取組の実施）が社会福祉法人の責務として位置付けられました。

## 「地域における公益的な取組」の基本的な考え方

／厚生省通知

厚生労働省は、平成28年6月1日付通知にて「地域における公益的な取組」の該当性を判断する場合作の参考となる考え方を示しています。

- ① **社会福祉事業や公益事業を目的とした福祉サービスとして提供されること。** 施設の入所者等と住民との交流活動、環境美化活動や防犯活動は該当しない。
- ② **日常生活や社会生活上の支援を**



**必要とする方へのサービスであること。**地域住民に対する交流スペースの提供や一般的な学力向上を目的とした学習支援は該当しない。

**③無料又は定額な料金で提供されること。**自治体からの受託事業等、費用の補てんを受けている場合は該当しない。

なお本通知では、個々の取組については法人が地域の福祉ニーズを踏まえて、法律の趣旨に則して判断する必要があり、これらの例に限定されるものではないとしています。

**全国的な取組の動向  
各県で始まる様々な展開**

このように社会福祉法人が地域における公益的な取組を行うことが求められるようになりましたが、単独の法人ではできることが限られているため、各県では様々な法人が連携して取組を行う事業が展開されています。主に都道府県の社会福祉協議会（以下、社協）が取りまとめ役となり、生活困窮者支援や、公的な制度では解決できない問題への取組にあたっています。

一例をあげると、視察した滋賀

県「滋賀の縁創造実践センター」では、制度の狭間の困りごとを放つておかない姿勢を基本とし、『こども食堂』の推進・助成や、子ども達の居場所を作る『フリースペース』、重度心身障害者の入浴支援等の事業に取り組んでいます。

**本県での取組について  
県社協/地域公益活動推進研究会について**

岡山県社協では、全国の先例にならい、法人の地域における公益的な取組について検討するため、「岡山県地域公益活動推進研究会」を設置しました。この研究会

では、岡山県ではどのような地域における公益的な取組が必要とされるかを調査研究し、有効と思われる活動を関係各所が連携して行うためにはどうしたらよいかということを協議しています。また、将来的には各市町村において、地域の課題が解決できるネットワークを創ることを目指しています。検討を進めるために、まず、岡山県内における地域における公益

的な取組についての理念を作成しました（左枠）。理念の趣旨としては、岡山県内の全ての社会福祉法人が協力しあつて、困っている人を助ける仕組みを作るということです。また、地域における公益的な取組を行うにあたっての基本的な考え方を（下枠）のように設定しました。

「地域における公益的な取組」には、明確な定義がありません。それぞれの社会福祉法人が、自らの地域では、どのような事で困っている人がいるのかというニーズを見つけ出し、その

**◆本県における取組の  
基本理念**

誰もが住み慣れた地域で、いきいきと暮らせる地域社会の実現に向けて、社会福祉法人は分野や立場を超えてつながり、あらゆるニーズに耳を傾け、オール岡山で制度の狭間の課題を解決する仕組みづくりや支援を行います。

**◆本県における取組の基本的な考え方（取組方針）**

- ①社会福祉法人が主体的に取り組んでいく。
- ②県域ネットワークを構築し、県域ニーズへの対応や各市町村における地域公益活動推進のための基盤整備（支援）を行う。
- ③地域ニーズに柔軟に対応できる事業を展開していくため、全ての市町村域における社会福祉法人のネットワーク構築を目指す。
- ④県域ネットワークによる県域ニーズへの対応と、市町村ネットワークによる地域ニーズへの対応を並行して進めていく。
- ⑤ニーズを的確にキャッチする仕組みを整備し、新たなサービスや社会資源の開発・政策提言等（ソーシャルアクション）を行う。
- ⑥社会福祉法人のネットワークを中心に、行政や多様な関係機関、地域住民との協力・協働を図る。
- ⑦県域並びに各市町村において地域公益活動に取り組む人材を育成する。
- ⑧地域公益活動の情報発信（見える化）を行う。



地域公益活動推進研究会 検討風景

困りごとに対して、施設で対応できることを取組として行うことが求められています。取組の実施は、各法人が主体的に行うことが求められています。岡山県地域公益活動推進研究会では、その取組をバックアップする方法を模索しています。

● 研究会の今後の取組（予定）

先般、県内における制度の狭間の問題や各社会福祉法人の「地域における公益的な取組」の現状と課題を把握するためのアンケート調査を実施しました。集計結果を県内市町村社協のヒアリング結果

とあわせて分析し、課題解決に向けたモデル事業やリーディングプロジェクト（全県的な取組促進・運動展開）の内容を検討します。

また、社会福祉法人が取り組んでいる地域公益活動の広報の研究や、関係団体等への理解や共有を図るための場づくりも計画していきます。

市町村域での社会福祉法人のネットワーク化の動き

社会福祉法人・福祉施設と市町村社協の連携による取組

県域と並行して、市町村域における社会福祉法人のネットワーク化に向けた動きも始まっています。現在、総社市、美作市、高梁市、井原市、笠岡市において社協が中心となり、それぞれの地域における課題や取組についての情報交換や協議が行われています。

県内での取組紹介

総社市、美作市での社会福祉法人の連携による取組

● 総社市

総社市では、「総社市社会貢献活動連絡協議会（仮称）」の設立

に向け、市内に拠点のある社会福祉法人で構成する準備会を組織。市社協が事務局となり、第1回全体会で選出された幹事による協議を進めています。

準備会では、積極的な意見交換がなされており、平成29年度の取組実施を目指して、市内の地域課題に対し連絡協議会でどのような取組が実施できるか、検討を深めています。



総社市法人連絡会検討風景

● 美作市

美作市では、市社協の呼びかけにより、市内に拠点のある社会福祉法人を対象に「地域における

公益的な取組」を考える研修会」を開催しています。

美作市社協は、先行して「子どもの学習支援・居場所づくり事業」を8月に実施し、研修会参加法人と実践における効果や課題を共有しました。参加法人からは縦割ではなく制度の狭間のニーズに取り組んでいきたい等の意見があり、3つの取組事業（案）について作業部会を設置して協議を進めています。

最後に／今後に向けて

研究会の検討において、地域における公益的な取組の推進は、社会福祉法人の本来の責務であり、主体的に取り組んでいくことの重要性や、市町村社協と社会福祉法人施設が身近な市町村域で連携・協働して進めていくことの必要性・有効性について共通認識が図られました。

今後は、先行事例や調査結果に基づく研究を行いながら、市町村域等における法人間のネットワークづくりやその支援のあり方、推進上の諸課題についてさらに検討していきます。

# 赤い羽根共同募金



岡山県共同募金会

## 平成28年度 NHK歳末たすけあい配分交付式

平成28年度NHK歳末たすけあい配分交付式を12月19日(月)、岡山駅西口のひかりの広場(リットシティビル内)にて開催し、配分が決定した17団体・4施設に対し、総額3,530,000円の配分決定通知書を交付しました。

あたたかい募金をお寄せいただいた方々をはじめ、ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。



## ありがとうメッセージ

### きぼう

当事業所では、NHK歳末たすけあい配分金により、業務用の食洗機を購入させていただきました。

食洗機を使うことで、作業効率が良くなり、利用者の皆様のストレスも緩和されています。

今後もサービス向上の為、末永く大切に使用させていただきます。皆様のご支援に感謝申し上げます。ありがとうございました。

### 社会福祉法人 あすなる園

この度、NHK歳末たすけあい配分金により、倉庫を設置させていただきました。

これまでは古い倉庫に雑然と入れていましたが、お陰様で整理整頓ができるようになりました。

これからも地域と良好な関係を保ち、大切に使用したいと思います。皆様のご支援、本当にありがとうございました。

### “お車の共済の事なら！”



お見積り、ご相談、無料で承りますので  
お気軽にご連絡下さい！

岡山県支部 〒700-0927  
岡山市北区西古松237-126 松本ビル3F  
TEL086-246-3355 FAX086-246-3375

【本部】福岡市博多区東比恵2-15-25  
TEL: 092-441-5901

NJ730.1603.0250.999999

### ●各種看板・サイン・POP・展示装飾・デザイン●

広告美術 企画-製作

美術工房



公益社団法人 全日本広告連盟加盟 岡山広告協会会員

TEL 086-271-4410 (代)  
FAX 086-271-4412

〒703-8251 岡山市中区竹田 17-13

## 「無理しない地域づくりの学校」という挑戦 〜本気の人づくり・地域づくりを目指して〜

この学校は、岡山県社協が昨年度から始めた、地域づくりに取り組み人材を育てるための講座です。

社協職員をはじめ、多くの福祉職は、制度の枠の中で仕事をする「立場」を与えられ、「仕事だから」という理由で地域づくりをしているのではないか。しかし、それでは、住民を巻き込むことはできないのではないか。もっとみんながワクワクして、地域づくりを自分事として取り組むことはできないだろうか。そんな悩みからスタートしました。

### マイプランをつくる

講座では、受講生はマイプランという、自分の関心のあること、やりたいことを地域の課題、目指す社会像とすりあわせ、そのために自分が取り組むアクションを考えていきます。

各回の構成は、前半はゲストトーク、後半は、受講生によるプランのプレゼンです。ゲスト、講師や他の受講生からアドバイスをもらい、中身を練っていきます。これを最終回まで繰り返します。こ

れは学校の教頭を務める尾野寛明さん（株）エコカレッジ）が各地でしている塾をモデルにしています。今年度は、社協職員の他に、ケアマネジャー、障がい者支援施設や特養の相談員の方など、10名が受講しました。



聴講生含め毎回約30名が参加。会場は、お寺やゲストハウスなど。私服で参加するため、休みの日のような気分で、楽しく学べる。

### 私と向き合う

このプランを作る中で、行われているのは「垂直の対話」です。「垂直の対話」とは「私」すなわち、自分自身の内なる声との対話です。色々な話を聞く中で、自身の経験や感情と照らし合わせながら、自分事として受け止め、感じる事を言葉にしていきます。

この「私」と向き合う時間を通して、自分は福祉の仕事を通して、それ以上に人生を通して、本当に何がやりたいのかをひたすら考えしていきます。

また、ここでできたつながりは新たな場を生み、地域での月1のバー企画など、ユニークなイベントがどんどん派生しています。

11月に行われた最終回では、9名の受講生が参加して、マイプラン発表を行いました。時間にして一人たったの15分ですが、半年間の自身の変化を踏まえ、想いを語るプレゼンは、まるで映画のように感じました。



マイプラン発表の様子。毎回、校長、教頭からの問いに答えながら、言語化していく。

### 私が変われば、地域も変わる

これは、学校の校長である竹端寛さん（山梨学院大学）の言葉であり、なぜ、この学校を開いているのかという理由です。今の地域福祉の実践は、「私」のない地域づくりになっていないか。でも、

本気で地域づくりをやっている人は「立場」でなく、「私」を出発点にしています。本気で、自分事として、ワクワクして地域づくりを行うためには、この「私」という存在を見つめ直す場をつくる必要があるのではないかということを強く感じています。

最後に、一人の受講生の言葉を紹介します。「はじめは「垂直の対話」と聞いてもわからなかった。でも、まさにそれを体験した。このプランを人生の道筋にしていきたい。地域に出ることが楽になった。この場にきたことで、表面上は変わってないように見えるかもしれないけれど、心の奥の方で変化が起こっている気がする。」



昨年、11月に行われた最終発表会に参加したみなさんと。本当に心あふれる1日になりました。

福祉を学ぶ高校生を対象とした  
ワークショップを開催

12月19日(月)、岡山後楽館高等学校にて、福祉の勉強をされている高校生を対象としたワークショップを開催しました。

このワークショップは、福祉課や福祉コースがある県内の高等学校・生徒で構成される岡山県高等学校教育研究会福祉部会と岡山県高等学校福祉教育協会が共催で開催した、「平成28年度岡山県高等学校教育研究協議会福祉部会総会・第2回研究協議会並びに第9回生徒体験発表会」の一環として行いました。

福祉施設や地域包括支援センターの職員等、福祉の現場で働かれている10名のゲストをお招きし、「福祉の仕事(勉強)を始めたいっかっけは?」「仕事(人生)の中で大切にしている想いは?」といったテーマに基づいてゲスト・生徒・教員がグループに分かれて話し合いをしたり、高校生からゲストへ向けて自由に質問をする中で、



ゲスト・生徒双方の、福祉に対する様々な想いが飛び交いました。「福祉に携わる面白さや奥深さを知っていたきたい」という想いで開催した今回のワークショップですが、参加された生徒の皆さんにとって、福祉の仕事についての視点を広げ、想いを深めるための機会に繋がっていただければ幸いです。

ゆうあいセンターからのご案内 問い合わせ先 TEL:086-231-0532 FAX:086-231-0541

よりよい社会福祉施設・病院づくりを目指すあなたのための

## ボランティア受入事例報告会

参加者を募集しています!

お申込はコチラから  
  
<https://goo.gl/5gd3U8>

基調講演  
 ・妻鹿ふみ子(めがふみこ)教授  
 (東海大学健康科学部社会福祉学科)  
 ・社会福祉施設や病院におけるボランティア受入の意義について、講演いただきます

事例報告  
 ・8つの施設&病院によるボランティア受入事例報告(各8分程度)  
 ・妻鹿先生からご講評をいただきます

◇開催日時:平成29年3月10日(金)  
 13時30分から16時00分(受付13時)  
 ◇会場:きらめきプラザ2階「ゆうあいセンター」  
 (岡山市北区南方2-13-1)

ぜひお越しください!

福祉の労務管理は福祉の社労士にお任せください!



労務管理で  
困っている

- ・就業規則の見直し
- ・人材育成
- ・人材定着
- ・助成金の活用
- ・セミナー講師
- ・業務の効率化

**Ai** あい社会保険労務士法人 ☎ 0863-81-5634

特定社会保険労務士 佐藤起世子  
〒706-0024 玉野市御崎2-3-13

あい社会保険労務士法人 検索

<http://aisr.or.jp/> メルマガ募集中!  
メルマガはHPからお申し込みください。

**災害時要配慮者支援  
体制構築セミナーの  
ご案内**

災害時における要配慮者への応急的支援を行うため、発災直後に福祉専門職等で構成されたチーム（災害派遣福祉チーム（仮称…DCAT）を被災地の避難所・福祉避難所（福祉施設）等に派遣する仕組みについて、県内の福祉関係団体と協同で検討を進めています。この支援の仕組みが構築されるには、多くの社会福祉法人や事業所から協力をいただくこととなることから、当該構築の必要性をご理解いただくとともに、検討の経過をお知らせするため、本セミナーを開催します。

**◆日時** 3月16日（木）  
13時～16時

**◆会場** きらめきプラザ 3階  
301会議室

**◆内容**

- 講演「公民協働でつくる災害福祉の体制づくり・人づくり」  
講師 富士通総研 名取直美氏
- 事業説明「災害派遣福祉チーム（DCAT）構想について」
- 事例報告①「熊本地震における災害派遣福祉チーム（岩手県・京都府）の活動実践」

**機関紙『岡山県社会福祉』への  
ご意見・ご感想をお寄せください。**

本会機関紙『岡山県社会福祉』へのご意見・ご感想を随時、郵送、FAXにて受け付けております。いただいたご意見・ご感想は今後の機関紙の内容充実に向け、活用させていただきます。皆様の声をお待ちしております。

**【ご意見・ご感想はこちら】**

＜郵送の場合＞  
〒700-0807  
岡山市北区南方2丁目13-1 きらめきプラザ3階  
社会福祉法人岡山県社会福祉協議会 広報班あて

＜FAXの場合＞  
FAX：086-227-3566 まで



○事例報告②「災害時における『高齢者SOSサービス事業』実施・開設」

○事例報告③「地域と連携した災害福祉における支えあいの体制づくり」

**◆参加費 無料**

**◆問い合わせ先**  
福祉経営支援部  
TEL 086122613529

**平成29年度 岡山県社協 広告募集**

**機関紙『岡山県社会福祉』**

社会福祉関係者に本会の取組みや最新の福祉動向を紹介する機関紙です。

- 発行回数：年6回（偶数月10日発行） 発行部数：1回あたり5,700部
- 配布先：民生委員・児童委員（約3,000名）  
社会福祉法人・施設（約1,900ヶ所）等
- 広告掲載料：A4サイズ1/4 13,000円 A4サイズ1/8 7,000円

ホームページバナーや福祉求人情報誌等の広告も随時募集中です。  
詳細は、ホームページをご覧ください。

**【問い合わせ先】** 岡山県社会福祉協議会 総務企画部 TEL：086-226-2822



**社会福祉法人の 会計を完全フォロー!**

**会計監査導入サポート**

- ・内部統制の構築のしかたはご存知ですか?
- ・業務のみえる化ができていますか?
- ・適切な帳表を作成し、経営判断に役立てられていますか?

**法改正サポート**

- ・新理事・評議員はどんな人を選べばいいのか?
- ・定款・経理規程はどのように作成するのか?
- ・理事会・評議員会はどうやって運営すればいいのか?

思い当たるあなたは今すぐ!

**社福経営サポートクラブ**

株式会社 創明コンサルティング・ブレイン  
SCB 公認会計士・税理士 宮崎会計事務所

**0120-747-824**

〈受付時間〉9:00～17:30(平日)

ホームページ <http://www.ssc-scb.com>  
〒702-8002 岡山県岡山市中区桑野713番地10

私たちに  
ご相談  
ください!



SCB  
社福サポート担当  
いしはら

岡山県社会福祉協議会イメージキャラクター

## 「ももるんじやー」



最優秀賞・優秀賞に選ばれた皆さま

### 最優秀賞(2名)

頓宮佑一さん(備前市/30代) 丸尾和女さん(倉敷市/60代)

### 優秀賞(4名)

香本 葵さん(岡山市/10代) 菅野綾香さん(津山市/20代)  
堀田涼介さん(岡山市/10代) 屯倉良子さん(岡山市/70代)

※ お申込み時の年代を記載させていただいています。

## イメージキャラクターの愛称が決定!

本会イメージキャラクターの愛称が、「ももるんじやー」に決定しました。

この愛称は、平成28年7月15日～9月30日の期間、岡山県出身、在住、在勤・在学の方を対象に行った募集に対して、500点を超える応募をいただいた中から、厳選なる審査の結果、最優秀賞として選定・決定させていただきました。

た。

本会の取り組みをPRする存在として、皆さまにご覧いただけます。機会も増えていくと思いますので、今後とも、「ももるんじやー」の応援をよろしくお願いいたします。愛称募集については、幅広い世代の方から、たくさんのお応募をいただき、誠にありがとうございました。

## 福祉の就職総合フェア 岡山冬を開催

12月18日(日)、岡山ロイヤルホテルにおいて、「福祉の就職総合フェア岡山冬」を開催しました。

このイベントは、福祉業界への就職を希望する方と、福祉の人材を求める事業所等との面談の場を設け、福祉人材の確保を目的として、例年、夏と冬に開催しています。

午前には、12法人・事業所による特徴(らしさ)や魅力をアピールするプレゼンテーションをはじめ、介護業界のイメージアップを目的として開催した、第2回カイゴ男子・カイゴ女子発掘プロジェクト(本会機関紙12月号参照)で、グランプリや準グランプリに選ばれた4名による介護の魅力発信も行われました。介護現場について聞かれる素朴な疑問について、現場のリアルな実例を踏まえて、わかりやすく発表されました。

午後には、90法人・事業所が参加した職場面談会、ハローワークや職能団体等による就職や福祉の資格取得相談等を行いました。

当日参加者は例年に比べ少な



「知っていた」等、当日お越しいただいた方には、有意義な場になったことと思います。

また、学生ではなく一般の方の参加も例年並みに見られた現状を踏まえて、若年層だけでなく、あらゆる世代を対象とした人材確保にも目を向けていく必要性を改めて感じたところです。

なお、次回フェアは、7～8月に開催予定です(岡山市内)。4月初旬には出展事業所を募集します。希望される事業所はお早めにお申し込みください(申込順)。

問い合わせ先

岡山県福祉人材センター

Tel 086-2226-3507

# 現場からの発信

## あさくちグリーンマーケット

みんなの笑顔が見たいから

少子・高齢化の進展や人口減少、家族・地域社会の変容などにより地域における生活・福祉課題が深刻化しています。

こうした中、地域の誰もが孤立することなく、その人らしく安心していきいきと暮らすことができるよう更なる取り組みの推進が求められています。

今月号では、浅口市鴨方町にて高齢者の生きがいづくりや介護予防、子ども達も含めたあらゆる世代の住民が集い、それぞれが活躍できる拠点づくりなどに取り組む「あさくちグリーンマーケット」代表の三井津好恵さんにお話を伺いました。

### あさくちグリーンマーケットとは？

地域密着の産直市場として、地域の方が作られた野菜、果物、ハンドメイドのクラフト作品等を揃え、販売しています。

ゆるく楽しく、近所の高齢者をはじめ、子ども、若い世代も含め、誰もが気軽に集えて、交流できる憩いの場として、平成21年にオープンしました。その中で、いつも出品してくださっていた方が、介護が必要になり、出品できなくなるというケースが出てきました。そのような状況をなんとかしたいと思い、未経験でしたが、平成25年にヘルパーステーションを設立しました。しばらくはヘルパー業務に専念するために、約2年半、グリーンマーケットを閉めることにしました。

しかし、その間も以前と同様に、野菜や果物を変わず作り続けてくれている方がいて、待っていてくれる人がいる、この人たちの生きがいを奪ってしまっていることに気づき、平成27年7月に再オープンしました。



店内には心のこもった品物の数々が並んでいます



### みんなが笑顔に！

ヘルパーの利用者さんの中には、思い通りに体が動かないことや、生きがいをなくした寂しさなどが

ら、会うたびに泣いていた人がいます。そこで、その方のご自宅の庭で育っている果物などを、麻痺がない方の手で袋詰めをしてもらい、お店に出品してもらいました。それをお客さんがおいしいと言って、買ってくださった時、とても喜んでくださり、その笑顔が見えた時、本当に嬉しく感じました。

介護が必要となる日を1日でも遅らせたい、1日でも元気にその人らしく過ごして欲しい、でも、どうしても病気になるってしまう時がある、そういう時、顔見知りのヘルパーがお手伝いをして、また元気になってお店に帰ってきて欲しい。介護が必要な状態になっても、すべてを失うわけではないありません。その人なりに出来ることを無理なく続けていけるよう、そのお手伝いをこのグリーンマーケットを通じて行っていくことができたらと考えています。

その他にも、お店で余った野菜や提供いただいたお米で、毎週金曜日の夜に、みんなでごはんを作って食べる、「子どもとごはんを食べる会」を開催しています。大人、子ども合わせて30名くらいの方々が集まっています。

これからに向けて

今後も高齢者だけでなく子どもたちやその親も巻き込んで交流ができるイベントにも取り組んでいきます。



第2回プチマルシェの様子

地産地消の徹底、車椅子でも通行しやすいスペースの確保、バリアフリー化、誰でも気軽に出品ができる、お客様との対話を大事にし、介護予防の視点も大切にして、高齢者をはじめ幅広い世代の方が、交流や生きがいづくり、活躍できる拠点にしていきたいと思えます。

**あさくちGREEN MARKET**  
**出品者大募集!!**  
 野菜・果物・雑貨など

ご出品はどなたでもご利用いただけます!  
 あさくちグリーン市場 GREEN MARKET  
 毎週水・木・金・土曜日  
**8時30分オープン!!**  
 TEL・FAX:0865-44-2550

あさくちGREEN MARKET 出品者申込書

**【問い合わせ先】**  
 あさくちグリーンマーケット  
 浅口市鴨方町六条院中1331-4  
 TEL 086514412550  
 ・営業日 水・木・金・土  
 8時30分～13時  
 \*出品者大募集中!お気軽にお問い合わせください。



お話を伺った三井津好恵さん

皆さん、ぜひ一度「あさくちグリーンマーケット」へお越しください。

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

平成28年度

# ボランティア活動保険

全国200万人加入!!

## 補償金額 (保険金額)

保険金の種類	プラン	Aプラン	Bプラン
ケガの補償	死亡保険金	1,200万円	1,800万円
	後遺障害保険金	1,200万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)
	入院保険金日額	6,500円	10,000円
	手術保険金	入院中の手術 65,000円 外来の手術 32,500円	100,000円 50,000円
	通院保険金日額	4,000円	6,000円
	特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の各種償金額(保険金額)に同じ	
	葬祭費用保険金 (特定感染症)	300万円(限度額)	
賠償責任	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)	

## 年間保険料 (1名あたり)

タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		300円	450円
天災タイプ(※) 基本タイプ+地震・噴火・津波		430円	650円

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険 検索

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災危険担保特約条項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

## 保険金をお支払いする主な例



## ボランティア行幸用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

## 送迎サービス補償

(傷害保険)

## 福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ●

団体契約者 ▶ 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第三課  
 TEL:03(3593)6824  
 受付時間:平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 ▶ 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
 TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763  
 営業時間:平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

(S)JNK15-17042 2016.02.18作成

# 『ふくし』の

## 仕事人たち

Vol.30

このコーナーでは、本会の会員である施設・団体等で働く「ふくし」の仕事に携わる人たちの声を紹介していきます。



更生保護法人 備作恵済会古松園  
則武 秀明 さん

### ①「ふくしの仕事」をはじめたきっかけは？

岡山市で生まれ、中学校卒業後の25年間は県外や国外で過ごしました。その内6年間は、国外紛争地での勤務でした。そこでの生きたくても生きることが出来ず、次々と人が命を落としていく光景を目のあたりにした体験が、私が福祉の仕事を始めたいきっかけとなりました。

2005年から、故郷の岡山で、隣保館の指導職員と知的障害者更生施設（旧法）での生活支援員を兼業するようになりました。その

後、介護老人保健施設で介護福祉士として勤務しました。冷汗いっぱいでしたが、幸せいっぱいな毎日でもありました。

### ②今、主にどんな仕事をしてますか？

「再犯防止」。2014年から岡山市の更生保護施設古松園で福祉職員として勤務しています。更生保護施設は全国に103か所ある民間の施設です。刑事施設から釈放された人のうち頼るべき親族がないなどの理由で、直ちに自立更生することが困難な人に宿泊場所や食事を提供しながら、就労支援や社会生活の適応に向けた生活指導を行っています。

刑事施設内では、福祉的支援を必要とする人が収容されている実情が知られるようになり、社会福祉士等の資格を有する福祉職員を配置して、高齢の人や障がいのある人に特別な処遇を行う施設が、2009年から57か所指定されています。

「資質向上」。これまで社会福祉士・介護福祉士・介護支援専門員・社会教育主事任用資格などを取得し、現在は精神保健福祉士・福祉経営学士号取得を目指しています。2016年11月には日本犯罪心理学会に入会し、自身の専門性をより高める努力を続けています。

「資質向上」。これまで社会福祉士・介護福祉士・介護支援専門員・社会教育主事任用資格などを取得し、現在は精神保健福祉士・福祉経営学士号取得を目指しています。2016年11月には日本犯罪心理学会に入会し、自身の専門性をより高める努力を続けています。

### ③仕事を通じて体験したエピソードがあれば教えてください。

福祉職員が行政や医療関係の手



近隣への清掃奉仕活動

## SELP商品のご紹介

社会福祉法人 金曜会  
わくわくハンド・ベル

わくわくハンド・ベルでは地産地消を目指し、畑で原料の大豆を育て、手作りの豆腐を製造しています。暑い中での草取りは大変ですが、おいしいお豆腐のためにみんなで頑張っています。また、しっとりおいしいおからを使用してクッキーやケーキやお菓子の製造もしています。おいしい大豆は石臼できなこにもなります。どの商品もみんなの笑顔がたっぷり入っています。ぜひ、ご賞味ください。



- 商品名 手作り豆腐
- 価格 ソフト豆腐 1丁130円(税込)
- 内容量 1丁350g
- 賞味期限 製造から4日
- 原材料表示 大豆・とうふ用凝固剤 消泡剤

【問い合わせ先】  
社会福祉法人 金曜会  
わくわくハンド・ベル  
〒719-1134  
総社市真壁399  
TEL(0866)941-9091  
FAX(0866)941-9092

## 編集後記

今年度の機関紙「岡山県社会福祉」は、いかがだったでしょうか。本会の取り組みをはじめ、県内における先駆的な活動事例や福祉動向等について情報発信してきましたが、来年度もより一層努力して参りますので、ご愛読のほど宜しくお願いいたします。